

青春の詩

サムエル・ウルマン作 宇野収、作山宗久訳

青春とは人生のある期間ではなく
心の持ち方をいう。

バラの面差し、くれないの唇、しなやかな手足ではなく
たくましい意志、ゆたかな想像力、もえる情熱をさす。
青春とは人生の深い泉の清新さをいう。

青春とは臆病さを退ける勇氣
やすきにつく気持ちを振り捨てる冒険心を意味する。
ときには、20歳の青年よりも60歳の人に青春がある。

年を重ねただけで人は老いない。
理想を失うとき はじめて老いる。

歳月は皮膚にしわを増すが、熱情を失えば心はしぼむ。
苦惱、恐怖、失望により気力は地にはい精神は芥になる。

60歳であろうと16歳であろうと人の胸には
驚異にひかれる心、おさな児のような未知への探求心
人生への興味の歓喜がある。
君にも我にも見えざる^{えきでい} 駆遣が心にある。
人から神から美、希望、よろこび、勇氣、力の
靈感を受ける限り君は若い。
靈感が絶え、精神が皮肉の雪におおわれ
悲嘆の氷にとざされるとき
20歳だろうと人は老いる。

頭を高く上げ希望の波をとらえるかぎり
80歳であろうと人は青春の中にいる。

第二の青春を楽しみながら、
素敵に年齢を重ねていく人たちの姿をご紹介します！



高知マレットゴルフ協会の皆さん

いまや人生100年の時代といわれ、世界一の長寿大国となった日本。
長期化する老後に、悩みや不安を抱くことも少なくないかもしれません。
でもそれは、セカンドライフを謳歌し、
人生を楽しむための時間が長くなったとも考えられるのではないのでしょうか。
生きがいを見つけ、一日一日を大切にしながら、
いきいきと年齢を重ねていくことができれば、こんな素敵なことはないと思いませんか？

特集

百まで笑って生きるコツ